

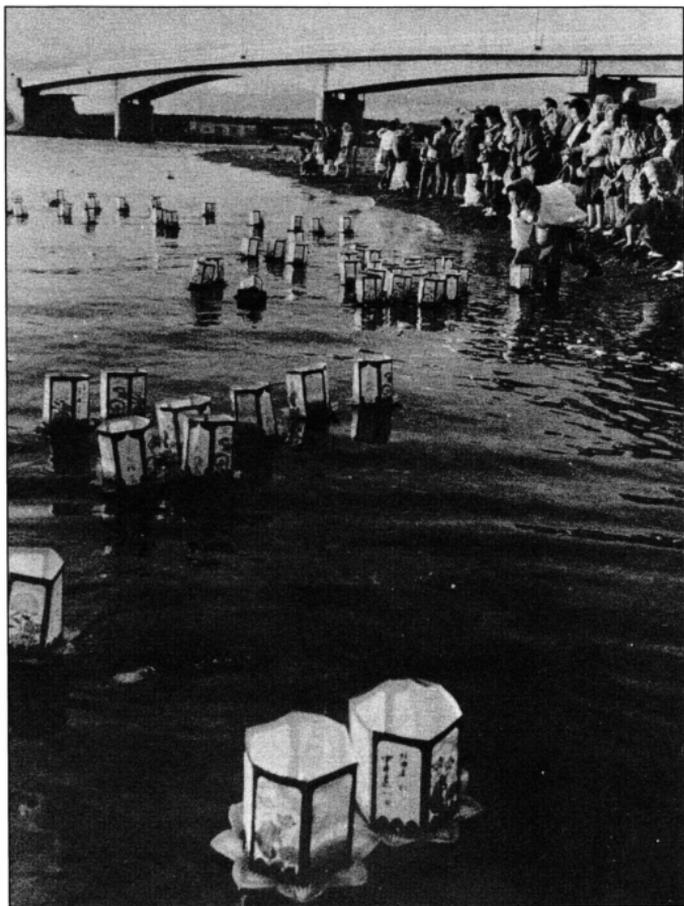
広報



しらす

昭和57年

7月号



ただよう折りの灯 灯ろうは素朴な心乗せ日本海へ



少年の非行をなくそう

叫ばれる家庭教育の重要性

少年の非行や不良化の問題が大きくとり上げられ、正しい道徳を含めた家庭教育の重要性が叫ばれています。少年非行を防ぐために学校や地域での諸活動は行われているものの、残念ながら現実として青少年の非行は後を断ちません。原因はなんでどうすれば少年の非行を防げるか—なを村内で起った非行の実態を見ながら考えてみましょう。子供たちが健やかに育つて欲しいという願いはみんなが持っています。

非行の低年齢化

今年一月から六月までに金木警察管内で発生した少年非行等は、二百七十人(うち女子二十七人)で昨年同期百四十四人に比べて二百十六人(八七・五%)増えています。このうち刑法犯少年は女子三人を含む二十二人(昨年同期二人)です。内訳けは窃盗がほとんどで七・七%を占めていることが注目されます。続いて暴行、詐欺がそれぞれ九・一%となっており、中学生が七二・七%を占め、非行の低年齢化の傾向が強くなっています。

大人に不信心

少年非行の原因には家庭内

における親と子、成人と若年層との間に生ずるひずみなどが挙げられるようです。またよく環境が悪いからといわれ、よく、悪くしているのは子供たちではなく大人だといふことを考えてみましょう。非行少年の心理を分析してみますと、大人に対してなんらかの不安を抱くいわゆる不信心を持つことが、非行に走らせる大きな原因ともいわれています。

多い喫煙行為

一方、不良行為は二百三十二人で昨年同期(百九十九人)に比べて百十八人(九九・二%)増えています。行為のほとんどは、喫煙、夜遊び、不健全娯楽等です。こうした不良行為が非行に結びつくこと

表紙によせて◇ 灯ろう流し

十五日の夕暮れどき、十三湖でひと月早いお盆の灯ろう流しが行われました。夕日が湖面を赤く染めながら、日本海の波がなだに静かに沈むひととき、善男善女が霊よ安らかにと、祈りを乗せて灯ろうを水面上に浮かべ、海に向って手を合せる。年にいちどこのじま

人との心の対話にどの顔にも安らぎの表情が漂い、風に流されてゆく灯ろうをいつまでも見つめてしました。

この灯ろう流しは、蓬迎寺が例年行なっているものですが、当日は約三百人の人達でにぎわい湖畔はききながら「お盆」そのものようならムードに包まれていました。

を含めた教育の場ということになります。

連帯感を強めて

非行を防ぐ手だては、人間関係と信頼だけに難かしい問題。子供と親が一緒になつて有害な環境にうち勝つ根性と忍耐力を養うことが必要です。少年たちは常に新しい何かを求めています。そのエネルギ

家庭の愛情大切

家庭内の主な原因には■愛情と信頼と結合がない■いつも冷たい感情がして緊張が絶えない■兄弟の仲が悪い■物に思まれ心がとぼしい■キューモアがない■などが主なものとしていえるようです。家庭での一番大切なことは血の通った素朴な愛情です。人格形成の基本的なものは家庭であり、やがては地域社会

にのびていけるようになり、素晴らしい仲間を築き、地域に根ざした活動で自信と責任を持たせその喜びを体得させることが大切です。

青少年の非行を考える



子供たちは未来を築く大切な宝です。家庭はもちろん地域ぐるみで健やかに育てましょう。(相内保育所の子供たち)

非行防止の主な活動——*

村民意識の高揚に努力

青少年の非行防止を進めるための機関として、「青少年問題協議会」があります。

協議会は二十三人の委員で構成されていますが、相内、脇元、十三、太田の四地区に部会が設けられています。部会は下部の組織として地域に即応した活動を進めています

が、あくまでも協議会の示した基本要綱に沿って事業計画を決めています。

七月二十一日に開かれた委員会で八月一日から三十一日までの一カ月間を「青少年を非行から守る強御月間」として定め、重点目標に①村民の非行防止意識の高揚②万引

き及び暴力非行、その他非行防止③青少年をとりまく社会環境の浄化の三つを設定。各関係機関、団体と連け合い保ちこの運動の目的達成のために目標をつくすこととしています。また、話し合われた具体的なことはわけじもつめる家庭教育や大人も子供もあいさつをし合う習慣を自分子供だけでなくその子供にも目を配る気持ちと実行などとなつていきます。

夏休みを楽しく——*

少年非行防止七カ条

夏休みは、子どもの心身に適度の休養をとらせるよい機会であると同時に、子どもの自主的、自律的な生活態度を育てる上でも極めて大切な時期です。その反面、子どもたちは秩序ある学校生活から解放されたという気のゆるみから、家庭での生活態度に節度を失いがちになり、思わぬ事故や非行を起こす心配があります。

- ⑤ 子どもの部屋に飲酒、喫煙、シンナー等吸引の気配はありませんか。
- ⑥ 顔色が悪く病気でもないのにマスクをかけていませんか。子どもの衣服からシンナー、ゴムのりの臭いがしませんか。
- ⑦ 小遣銭欲しさから行うアルバイトを簡単に許していませんか。

子供の非行は家庭にも責任

- ① 帰宅時間が遅くなったが、又帰宅した時、家人の目を避けるようなことが目立っていませんか。
- ② 友人からの電話回数が増え、誰よりも早く電話口に出てヒソヒソと話をしていますか。
- ③ 友人宅で勉強するなどの口実で、外泊が目立っていますか。
- ④ 買いたんてい覚えのない衣服、下着、所持品等を持っていませんか。
- ① 子どもの非行は、家庭にも責任があります。次の事から気をつけましょう。
- ② 普段から、社会や家庭の一員であるという自覚と責任を持たせるよう努力を行うとともに、親自身が子どもの模範となるような行動をとりましょう。
- ③ 金銭や物品で、子どもの歡心を買うようなことはやめましょう。
- ④ 子どもとの対話を通して、子どもをの気持ちを理解するようにしましょう。

青少年の非行を考える

私はこのように思う……

青少年の非行問題についてどのような
に思っているのか10代から60代までの
村民に登場していただきました。
みなさんも真剣に考え家庭の話題にし
てみて下さい。

非行とは「人間の心に起る敵意の発
露である」と字者は定義づけています。

大人が手本を



本 莊 珍 雄
十三(社協職員60歳)

青少年を抑圧し、満足感を奪い、敵
意をささそうのは私達大人であり、大
人がつくり出す総体的な社会現象であ
ると考えます。こうした現実の中に
あって、私達は青少年に問う前に、い
まこそ「おとな」としてのプライドを
持ち、手本となることが青少年非行防
止の第一歩だと思います。
また、常に親と子の話し合いも必要
です。

家庭に於いては、親は常に子供たち
に自分の心を見せることです。そして

親の心を子供に



三和 淑子
相内(主婦41歳)

学校はそのようなもとで本来の教育
に専念すべきでしょう。

自己反省のもとに、自分の思想なり、
生き方を教えてゆかなければならませ
ん。

最近、子供たちをとりまく社会環境
は、野放し状態で心をまどわすことば
かりです。地域の子供は地域のもの
として、各関係機関、団体では環境浄化
につとめるべきです。

忍耐力を持つ



沢田 清文
相内(高校生16歳)

非行とは、あるまじき行動やよくない
行い、などのことなのですが、僕
を含め少年たちはその区切りがないた

大人たちも、もう僕たちを理解し
てほしいと思うし、親のつながりを
密にしてほしいと思います。

め、「家庭内暴力」「校内暴力」へと発展
していきます。
たしかに人間には好奇心というものが
あり、少年でありながらたばこを吸
ったり、酒を口にしたりする。さらに
は万引やシンナー遊びなどする人もい
ます。これは、忍耐力に欠けているた
めだと思っております。
自分たちの行動を、自分の思想なり、
生き方を教えてゆかなければならませ
ん。

非行については「教育」の分野では
なく、「しつけ」の問題として考えるべ

因果応報の躰を



岡本 茂樹
相内(農協職員30歳)

非行は幼児期における親の人生観の
誤りから発生するということを念頭に
対処すべきだと思います。

私は非行防止の一つの考え方として、
子供に対して「因果応報」に関して今
行っている事が原因であり、結果とし
て自分が親になった時、必ず子供が
自分と同じ事を繰り返すという事を

非行の原因はいろいろあると思いま
すが、先ず日ごろから子供の言いま

親はき然として



藤田 禮造
磯松(農家51歳)

私たちが大人も自らを正し、社会環境
の浄化に努めたいと思います。

にならないことであろう。たとえば、
どこの家庭でも一人一部屋をあたえ、
なんの規制もしないなど、とますれば
「悪の温床」にもなりかねないと思う
のです。親は常にき然とした態度をと
り、あるときはやさしく、あるときは
きびしく原則にしたいものです。

「物を大切に」という言葉はあらゆ
る物事に対しても言いかえられるよう
な気がします。

今を大切に生きる



秋田谷つや子
桂川(保母23歳)

品物はもちろんのこと、たった一度
しかない人生をもっとまかせに突っ
走ってしまう傾向は考えなければいけ
ないと思います。レールはいちど踏み
はずしたら、なかなか元へ戻れないの
です。後悔してもその時はもうとりのか
えがつかなくなっていることをもっ
と長い目でみつめなおし、冷静に物事
にとりくむ姿勢を持かなければならな
いように思います。同じ世代の人間と
して、「いま」を大切に生きたいのです。

品物はもちろんのこと、たった一度
しかない人生をもっとまかせに突っ
走ってしまう傾向は考えなければいけ
ないと思います。レールはいちど踏み
はずしたら、なかなか元へ戻れないの
です。後悔してもその時はもうとりのか
えがつかなくなっていることをもっ
と長い目でみつめなおし、冷静に物事
にとりくむ姿勢を持かなければならな
いように思います。同じ世代の人間と
して、「いま」を大切に生きたいのです。

県ジュニアカヌー・十三湖大会



▲開会式…棧橋に四市町村の代表92人の選手が勢ぞろい

湖面に水しぶきをあげて…



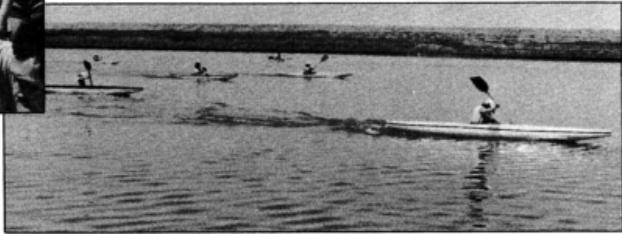
県カヌー協会主催の第二回県ジュニアカヌー・十三湖大会が七月四日、前潟で開れました。この日は県内四市町村から小・中学生九十二選手が参加。初夏の湖面に水しぶきを上げていました。

この大会は秋に行われる十和田湖大会と並ぶ大きな大会だけに、どの選手も巧みなオールさばきで白熱したレースを展開しました。

結果は、十三海洋クラブが男女とも大量の上位入賞者を出しました。



▲選手宣誓…選手を代表して八木沢康君(十三海洋ク)が力づよい宣誓



▲白熱のレース…巧みなオールさばきでラストスパート

▲湖岸の観覧席…父兄や見物客がつめかけて大声援



▲安全装備…万一にそなえ、ライフジャケットを身につける選手たち

▲ほっとひと息…レースを終え、湖面にゆらめく影を落しながら着岸



- 大会入賞者 (本村関係分)
- (男子) □小学四年生の部
 ①松木紀仁(1分51秒92) ②浜田拓二(1分53秒90)
 □小学五年生の部
 勝人(1分40秒56) ③相川秋(1分47秒59)
 □小学六年生の部 ②三上生輝(1分47秒10) ③八木沢康(1分50秒15)
- (男子) □中学生の部
 ①佐藤考和(1分36秒70) ②相川聡貴(1分39秒81) ③小山内聡(1分41秒63)
- (女子) □小学四年生の部
 ①豊島夏子(1分53秒09)
 ②工藤智美(2分12秒49) ③本荘千登世(2分21秒02)
- 小学五年生の部 ①長尾ゆう子(1分43秒42) ②秋田谷由紀(1分48秒62) ③工藤柳子(1分51秒38)
- 小学六年生の部 ①小寺由里子(1分41秒77) ②柳谷由美子(1分46秒52)
- 中学生の部 ①米谷千晴(1分38秒78) ②秒田谷美代子(1分44秒70) ③宮崎真貴子(1分44秒70)
- 最高タイム賞 相川勝人(1分40秒56)、小寺由里子(1分41秒77)



事故ゼロを願って交通安全パレード

7月21日～8月20日

夏の交通安全運動

あなたの自覚だけが頼み

「子どもとお年寄を守る」が重点

この夏を全国的に交通安全運動がくり広げられます。毎年の行事ながら、住民の意識を高める運動を続けていくことが無事故、無違反につながる唯一の道です。わたくしたち村民はお互いに注意し合って、事故ゼロを達成しようではありませんか。「あなたの自覚だけが頼み」です。

三悪追放にも全力

七月二十一日から八月二十日までの一カ月間、全県いっせいに夏の交通安全運動がくり広げられます。一カ月間といふのは、これまでの三倍に当たり、事故抑止に全力を挙げることにしています。

とくに子どもとおとしよりの交通事故防止に向けられます。もちろん、酒飲み、無免許、暴走の「三悪」追放にも力がいれます。

村では交通安全対策協議会が中心となって運動を推進することになりましたが、村々

のみで安全を守り合い、この運動の成果を期待したいものです。

とくにこのような運動は実施団体や各機関の一部のみが、笛やタイコを、たたくことになりがちで、案外無関心の人が多いようです。したがって、運動の期間中でも悪質な違反があるとたたないのが過去の実情です。

このため、村交通安全対策協議会で、村民みんなが交通安全運動に参加してもらおうと、一カ月間無事故・無違反をテーマに設定。さらに運転者は、子どもとおとしよりの見たら速度を落とす、歩行者は、道路の右がわを一列に歩く、など、それぞれの立場から村民が遵守（じゅんしゆ）すべきスローガンを掲げて協力を呼びかけています。

締めていますかシートベルト



ドライバーの八〇%以上がシートベルトの効果を受けているにもかかわらず、その着用率は非常に低く、着用しない理由として「面倒だから」「わずらわしい」「窮屈だから」ということがあげられています。

韓国国会議員

金慕妊氏診療所を視察

□へき地医療で意見交換



白川村長と懇談する左から、金慕妊さんと金義叔さん。後向きは診療所の崔先生

しかし最近では、着脱が簡単に面倒さも改良されていますので、面倒がらずにこまめにシートベルトの着用を習慣づけたいものです。

シートベルトは①車外放出を防止する②衝突時に頭や胸をフロントガラスや、ハンドルで打つことを防止する③車内で転がったりしないなどの効果があります。わが身を守ってくれるのがシートベルトです。

韓国の国会議員と大学の先生が七月十六日、市浦診療所を視察のため来村しました。

本村を訪れたのは、金慕妊国会議員と延世大学校・看護大学、金義淑副教授の二人です。共に日韓親善協会の招きで日本を訪れ、へき地診療施設視察のため十五日に青森県入りし、韓国医師を招へいしている市浦診療所、小泊診療所等を見て回りました。金慕妊議員は社会厚生委員、金義淑副教授は看護学博士として専門分野での視察でしたが、白川村長との懇談では、「診療所の施設は立派です。二人の医師は大変満足しているように嬉しく思います」と、視察の感想をのべたあと、へき地医療で意見交換しました。



健康管理を基本とした生活が大切—と
いう成田さん

■郷土料理コンクール
作品を募集中です

県では、現代にマッチし、「あおもりの味」として広く親しんでもらえる郷土料理の作品を募集しコンクールを開催します。
主催 静岡県産物産協会・青森県観光連盟・青森県
作品規定

- (1) 自ら作ったもので郷土にふさわしい料理であること。
- (2) 料理の材料は、主として県内で生産または採取できるものとする。
- (3) 料理は、春夏秋冬の季節料理あるいは年間を通じて作られるものであること。
- (4) 料理は和風、洋風を問わない。①魚、肉料理、野菜料理、鍋料理、漬物等。

応募資格 県内在住者に限る。
応募方法 応募者は、参加申込書に所用事項を記入し申し込むこと。(参加申込書及び実施要綱等は市町村及び県観光課に備付けています)
応募締切 昭和57年8月20日(但し、郵送の場合は締切日の消印まで有効)
問い合わせ先 静岡県産物産協会
電話 0177-22-1111
内線4177・4178

私は車行動めのとと軍隊生活を送り、終戦とともに復員し郵政業務に三十年在職しました。その間定期健康診断以外看婦に手をとられたり、医者に聴診器をあてられたことがありません。要するに病気をしたことがないのだから「健康」ということになるでしょう。そもそも私の家は

長生きのマキ(本家)分家の関係など同一の血脈で、孫はあさひの兄妹九人は八十五歳から九十五歳までそれぞれ長生きしています。したがって私も長生きできる確信をもっているのですが……。

(昨年、郵便局を定年退職したとき、老人クラブから一緒に老後を楽しもうと声をかけられ入会してから、老人保健学級、ことぶき大学等である。年寄りの健康法や長生きの秘訣を学んでいるうちに、ハハアー俺も社会の粗大ごみになつて共済年金に寄食しているが、体のよそれの部品？の潤滑油がきれいでいくんだなアと、気づくようになりました。晴耕雨読—)ことによいご

少食粗食、酒三合

なれんの変哲もありません。しかし、わが家の信条は自らの健康管理を基本とし、つぎのようになっています。参考までに。

- ①年金の受給権は等分に②家事についても等分に③そのものにより交替制④趣味を生かす(私は読書、妻は生花お茶)④地域の人達との連帯を深める。ことなどです。

テレビの画面がより鮮明に

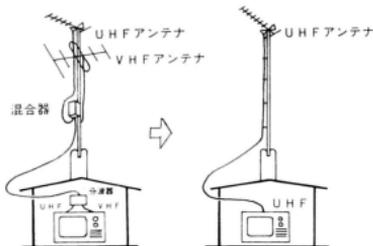
□ 新中継局八月五日放送開始

NHKでは、津軽平野地域のテレビ受信画質の改善をはかるため、五所川原市東方、馬神山(通称笹山)に中継放送局(UHF)の建設を進めてまいりましたが、今月下旬完成、八月五日の放送から新しい電波により鮮明な画像を受信できることになりました。

□ 放送チャンネル(UHF) NHK総合 46チャンネル 教育 48チャンネル RAB青森放送 44チャンネル

□ 新中継局(UHF)を受信するには 新五所川原局は、青森テレビ(ATV)とほぼ同じ電波の強さ、方向のため、現在、青森テレビが良好に受信できる家庭では、テレビのUHFチューナーを調整することにより、現在のままのアンテナで受信できます。

○ 今後はUHFアンテナ一本で、NHK、民放とも受信できます。従来使用していたVHFアンテナ、混合器等は不要となります。アンテナを新五所川原局に正しく向けましょ



□ 放送開始 昭和五十七年八月五日



金木高校相内分校たまり

相内高野球部決勝で惜敗 県高校定通制体育大会

金木高校相内分校野球部は、青森県高校定通制体育大会で兄弟準優勝に輝きました。

1回戦は青森工業高に不戦勝。続く準決勝では強豪の大間高と対戦、延

長14回の苦闘のすえ7対2で勝ち、念願の決勝進出を果しました。
しかし、決勝では三沢高と顔を合せ善戦健闘しましたが5対1で惜敗しました。



成田寿光君

陸上競技でも大活躍 成田君全国大会へ

野球に続いて陸上競技でも大活躍。総合では第6位に入賞しました。

また、各種目でも上位入賞者が続出し、なかでも走り幅跳びで第2位に入賞した成田寿光君は、8月東京で行われる全国大会に出場します。

- 陸上競技記録
- 走り幅跳第2位成田寿光

- (3年) 全国大会出場 第8位若間春彦 (3年)
- 走高跳第2位工藤広行 (3年)
- 砲丸投第4位木津谷勇二 (4年)
- 1,500m第6位工藤勝一 (1年)
- 1,500MSC第4位木津谷勇二 (4年)

10年ぶりに同窓会を開く 会長に秋月忠孝さん

相内分校同窓会は、このほど10年ぶりに開かれました。この日は岩川本校校長も出席し、来年9月に行われる創立30周年記念協賛事業について要請、会員もこれを了承しました。続いて役員改選を行い会長に秋月忠孝さんを選びました。

新役員はつぎのとおり。

- 会長 秋月忠孝
- 副会長 三浦忠雄、木津谷

- 清蔵
- 事務局 三和省勝
- 理事 山田義正、岡本隆雄、吉田誠一、奈良孝一、成田俊二、安保貞栄、岡本茂樹、柏谷肇、三和剛雄、鳴海萬、三和悦穂、丸山路正、奈良謙英、三浦美智男、上野潔、葛西達也、三浦行彦、下山裕盛、藤田範道
- 監事 米谷正三、佐藤二郎
- 顧問 丁子谷勇、三和博明

お知らせ

■十三の砂山まつり 8月13日～16日

- 13日 PM 1 : 00子供ねふた運行 (村内一円)
- PM 7 : 00カラオケ大会 (公民館内)
- 14日 AM 9 : 00カッター・カヌー大会 (漁協前)
- PM 7 : 00十三の砂山踊り大会 (公民館内)
- 15日 AM 8 : 00青年野球大会 (十三小)
- PM 7 : 00十三の砂山踊り大会 (公民館内)
- 16日 AM 11 : 00おみこし、流し踊り運行 (村内)
- PM 7 : 00十三の砂山踊り大会 (公民館内)

■ 県立郷土館行事案内

特 別 展	
月 日	テ ー マ
7月25日から 8月25日	「郷土の遺跡展(II)」
9月1日から 9月29日	「絵船馬展」
10月9日から 11月10日	「日本の美」 東京国立博物館巡回展
11月20日から 58年1月30日	「弥生時代の青森」

講 演・講 座 な ど	
月 日	テ ー マ
7月20日から 8月25日	郷土の学習相談室
9月下旬	きのこの展示、鑑定、講演会
10月下旬	津軽海峽と先史文化講演会
58年1月・2月 日曜日、3回	「郷土史」 ふるさとシリーズ

■ 出稼ぎ事故見舞金制度 万一に備え加入を

○どんな制度
出かせぎされる方が安心して就労できるよう就労先で事故にあったとき、または留守宅が火災にあったとき見舞金を給付する制度です。

○加入者
この制度は54年5月2日から発足したもので、市浦管内では今年度81名加入しています。加入したい方は、役場(脇元・十三出張所)へ申し出てください。

○加入できるひと
1ヵ月以上1年未満居住地を離れて就労し、就労後は居住地に滞る人などなたでも加入できます。

○掛金
掛金は、年間1人600円です。

○見舞金

種 類	給付額	事故・災害の程度
死 亡 見 舞 金	50万円	出稼中における死亡
	8万円	6ヵ月以上休業して治療を要するとき
傷 病 見 舞 金	6万円	3ヵ月以上6ヵ月未満休業して治療を要するとき
	5万円	1ヵ月以上3ヵ月未満休業して治療を要するとき
障 害 見 舞 金	20万円	障害により労働不能となったとき
火 災 見 舞 金	8万円	留守宅が半壊以上のとき
	3万円	就労先の宿舍が全壊したとき

ではどうか、さりげなく感ずることができないではないでしょうか。

最近、あちこちでコミュニケーションづくりが盛んのように見えます。しかし、ここで気を付けなければならぬのは、ややもすると行政主導型で行われるから、行政主眼に思われるので、地域住民の発意にもとづいて急な発展を求めず、長い目で築きあげてゆく方向をきくってゆくべきと考えます。この、市浦村にはコミュニケーションの場がいっぱいあるように思われます。その一つとして村民体育大会があげられると思います。子どもからお年寄りまで、青空の下、思い汗をかいて、全てを忘れて熱中している姿はみんなの心をなごませてくれます。無意識のうちにかのふれあい、がそこに生まれていると思います。

コミュニケーションは心のふれあい



山田義正 (相内・34歳)



